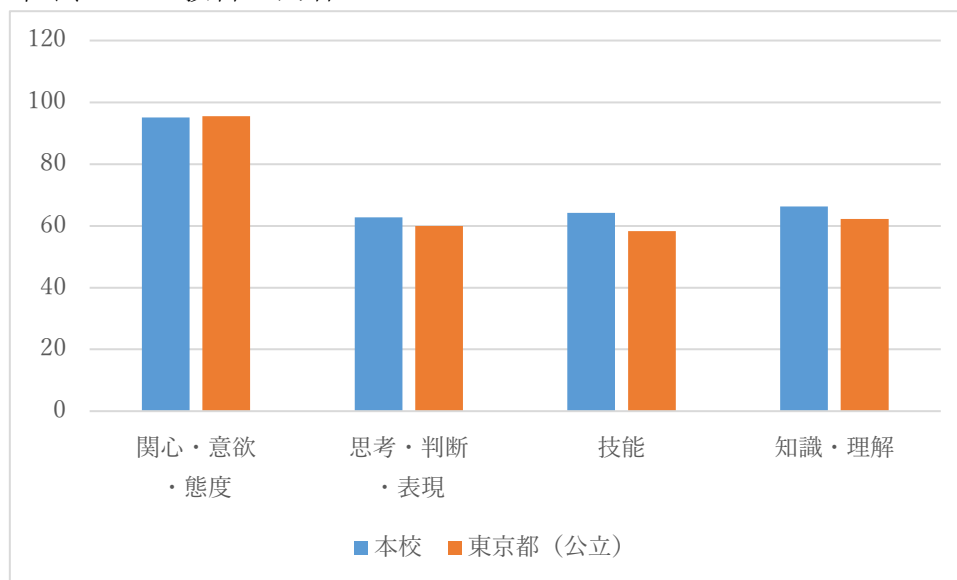


社会（児童・生徒の学力向上を図るための調査）

1 観点別の正答率についての分析

（1）社会：A 教科の内容

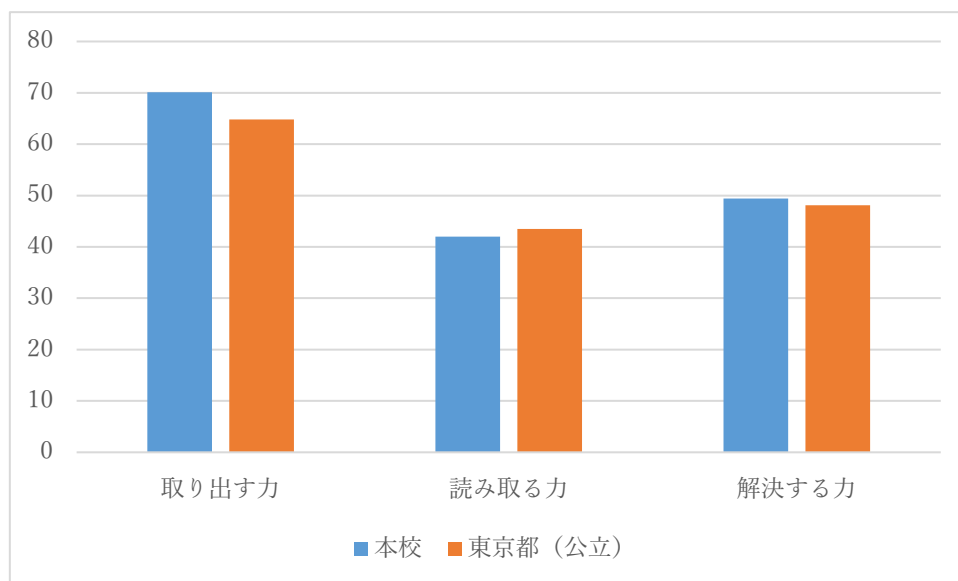


- ① 技能については、東京都の正答率 58.3%より約 6%上回る結果となった。
- ② その他 3 観点についても、概ね良い結果となった。特に、知識・理解の結果が約 4%上回っている。

結果からの考察

「技能」「知識・理解」に関する問題の正答率が、東京都の正答率より大きく上回っていたことが大きな成果である。上回った理由として、資料や地図帳を見て作業することに力を入れていることや授業の中で振り返りや反復学習をしていることが考えられる。以上のことを今後も続けていきたい。

(2) 社会：B 読み解く力に関する内容



- ① 取り出す力は、東京都の正答率 64.8%より約 6%以上上回る結果となった。
- ② 読み取る力が、東京都の正答率より 1.5%低かった。

結果からの考察

「取り出す力」が高かったことは、資料を見ていて、簡単な読み取りはできていると考えられる。しかし、「読み取る力」が及ばなかったということは、多面的・多角的な思考や複数の資料を比較して分析する力が課題として考えられる。授業では、さらに資料の提示を増やして、分析したことをお互い発表したり、自分の言葉で書かせたりしたい。

2 授業改善のポイント

一定の資料の読み取りはできているが、まだまだ深い思考が足りないと考えている。資料の分析については、深い思考に至るようなワークシートの作成や授業構成についてしっかり考えて臨んでいきたい。